

1. 科目名 (単位 数)	図画工作科指導法 (2単位)	3. 科目番号	EDEL2314
2. 授業担当教員	片岡 浩		
4. 授業形態	講義、演習	5. 開講学期	秋期
6. 履修条件・ 他科目との関係			
7. 講義概要	図画工作科教育の目標、育成を目指す資質・能力、「造形的な見方・考え方」を働かせる学習内容及び学びの方法についての概説や具体的な事例を通して、学校教育(公教育)で美術教育がおこなわれる教育的意義について理解を深めていく。併せて、授業分析や授業デザインの演習、模擬授業を通して、授業の組み立て方や評価規準設定の視点、指導案の書き方、指導方法について習得を目指す。		
8. 学習目標	1. 図画工作科の目標及び育成すべき資質・能力や学習内容を理解し、その特質と教育的意義を説明できる。 2. 造形表現の発達段階及び学習者の多様性について理解し、子どもの実態に合わせた指導について考えることができる。 3. 図画工作科における主体的・対話的で深い学び場づくりについて理解し授業設計することができる。 4. 学習指導案作成上の留意点を理解し、自ら選択した題材について学習指導案を作成することができる。		
9. アサイメント (宿題)及びレポート 課題	1. 作業表・学習指導案の作成 2. 作品提出 3. プレゼンテーションおよび資料(写真)提出		
10. 教科書・参考 書・教材	【教科書】 使用しない 【参考書】 内野 務/中村 隆介編著『アートフル図工の授業—子どもをひらく題材ノート』日本文教出版 造形授業研究会編『図工の授業をデザインする』東洋館出版社。 文部科学省『小学校学習指導要領』東京書籍。		
11. 成績評価の規準 と評定の方法	○成績評価の規準 1. 図画工作科の目標及び育成すべき資質・能力や学習内容を理解し、その特質と教育的意義を説明できるか。 2. 造形表現の発達段階及び学習者の多様性について理解し、子どもの実態に合わせた指導について考えることができるか。 3. 図画工作科における主体的・対話的で深い学び場づくりについて理解し授業設計することができるか。 4. 学習指導案作成上の留意点を理解し、自ら選択した題材について学習指導案を作成することができるか。 ○評定の方法 授業内の課題…30% ポートフォリオ…40% 最終課題…30%		
12. 受講生への メッセージ	1. 単なる知識や方法・技法の伝達だけにとどめず「造形表現の良さや素晴らしさ」を、こどもたち一人ひとりに伝えていけるような教員になってほしいです。日常生活の中での様々な出来事に興味関心をもちながら、豊かな感性とところを養っていきましょう。 2. 学習においては、指示されたノルマやプログラムに頼るのではなく、創意工夫、試行錯誤を試み、自己の責任で判断していく習慣を身につける『造形学習の本質』を体験しながら実社会で役立つ力を養っていきましょう。 ※授業日程はグループ実習の進行状況によって調整する場合があります。		
13. オフィスアワー	授業中に通知する。(掲示参照)。		
14. 授業展開及び授業内容			
講義日程	授業内容	学習課題	
第1回	ガイダンス：講義の目的・概要及び評価について／「図画工作科」は何を学ぶ教科なのか① -これまでの学習経験のふりかえり	事前学習	「私の図画工作科の経験」を記述してくる。
		事後学習	学習したことをポートフォリオにまとめる。
第2回	「図画工作科」は何を学ぶ教科なのか② -子どもの具体的な姿から考察する 【映像鑑賞+グループディスカッション】	事前学習	学習指導要領解説 pp.9～16を読む。
		事後学習	学習したことをポートフォリオにまとめる。
第3回	図画工作科の歴史の変遷と内容概観-目標、資質・能力、教科内容、カリキュラム構造、評価規準、教育的課題について 【講義】	事前学習	学習指導要領解説 pp.1～8、テキスト pp.2～5を読む。
		事後学習	学習指導要領ワークシートに記入する。
第4回	造形表現領域の発達段階の理解と児童の個別性・多様性を保持した学習環境デザイン 【講義】	事前学習	テキスト pp.52～53を読む。
		事後学習	学習したことをポートフォリオにまとめる。
第5回	図画工作科の内容と教育的意義1 A表現ア「造形遊び」① -演習と観察 【演習+ペア学習】	事前学習	テキスト pp.58～65読む。
		事後学習	学習したことをポートフォリオにまとめる。
第6回	図画工作科の内容と教育的意義2 A表現ア「造形遊び」② -学習過程の分析と授業評価 【講義+グループディスカッション】	事前学習	ワークシートで足りなかった個所を充実させてくる。
		事後学習	【レポート課題①】造形遊びについての気づき、感想をまとめる。(1500字程度)
第7回	図画工作科の内容と教育的意義3 A表現イ「絵や立体、工作に表す」① -美術教育のマニュアル化を考える 【講義+グループディスカッション】	事前学習	テキスト pp.179～180を読む。
		事後学習	【レポート課題②】美術教育におけるマニュアル化についての考えをまとめる。(500字程度)
第8回	図画工作科の内容と教育的意義4 A表現イ「絵や立体、工作に表す」② -表現と鑑賞活動の関連性を理解する 【演習+講義】	事前学習	テキスト p.90, 95, 141を読む。
		事後学習	学習したことをポートフォリオにまとめる。

第9回	図画工作科の内容と教育的意義5 A表現イ「絵や立体、工作に表す」③ 一学びを深めるためのツールとメディアーワークシートのデザインと教材及びICT活用法 【演習+講義】	事前学習	第8回の制作課題を終わらせる。
		事後学習	学習したことをポートフォリオにまとめる。
第10回	図画工作科の内容と教育的意義6 B鑑賞ア-ことば・対話・身体・感覚による鑑賞の体験的理解と授業デザイン 【グループワーク】	事前学習	テキスト pp. 138~140, p. 142を読む。
		事後学習	【レポート課題③】鑑賞教育についての考えをまとめる。(500字程度)
第11回	指導案作成① 題材研究及び授業展開の構想 【グループワーク】	事前学習	テキスト pp. 171~174を読む。
		事後学習	ワークシートに題材を経験して得た気づき、理解をまとめる。
第12回	指導案作成② 題材観及び評価規準の設定、授業展開の再検討 【グループワーク】	事前学習	ワークシートに授業展開をまとめる。
		事後学習	授業設計と本時の展開を完成させる。
第13回	指導案作成③ 導入方法を検討する 【グループワーク】	事前学習	導入の方法と展開を考えてくる。
		事後学習	模擬授業に向けて練習をする。
第14回	模擬授業と授業研究会②(後半グループ) 【グループワーク】	事前学習	模擬授業の準備(参考作品、資料、ワークシートの作成など)
		事後学習	模擬授業を実施しての気づきをポートフォリオにまとめる。
第15回	授業のまとめとふりかえり(最終課題)	事前学習	これまでの学習内容をふり返り、図画工作科の目標と意義を自分の言葉でまとめてくる。
		事後学習	ポートフォリオにこれまでの学習をまとめる。 第15回の授業内で出される最終課題を完成させる。